

私たちがオススメ！
まちを知って楽しんで

舞鶴観光ボランティア けやきの会



アプリ内の動画で当時を再現した機関車が見れてびっくりしました。インストールしたばかりですが、今と昔が切り替わって楽しそうなので、毎日見られそうです。

まずは子どもや孫などに伝え、そこから他の人に伝えて広まっていけばいいと思います。東舞鶴の地図を見ると、整然と引かれた碁盤の目の道路は、風通しを良くして疫病がはやらないようにという海軍の知恵や先見の明が見られます。ガイド時もこれを見ながら説明ができるのでいいですね。ほかのまちの人も、このアプリを見て、まちを散策できるので楽しめそうです。

まちを知ることが大事で、知ると好きになって話したくなるし、話すともっと知りたくなるという良い循環で、このアプリもたくさんの市民に知ってほしいです。

田辺城ガイドの会



西舞鶴は城下町だったこともあり、町並みの隅々に歴史があります。普段の案内は行きたい場所や時間によってコースが変わりますが、最近では街道を歩くことが多いです。

現在の寺内の「広っぱ」周辺は敵が攻めてきたとき見通せないよう、直角に曲げた道がつけられています。円隆寺には平安時代に作られた三体本尊の仏像が市内で唯一あります。江戸時代に火事で建物は再建されているので、火事があったときに仏像を持ち出して逃げた歴史が見えます。建物も造形が細かく、京都の五重塔と同じ柱の造りと芸術的です。このような私たちが調べている古文書など史実に基づいた正しいことをアプリに落とし込み、たくさんの人に知ってもらえたらうれしいです。

まち探検アプリが

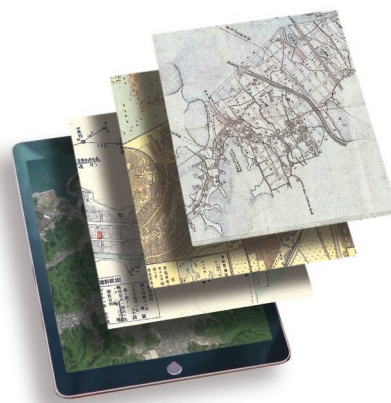
スタート

通勤・通学で何気なく目にする、よく散歩する、いつもの道や河川敷、海岸線。皆さんが住み慣れたふるさと舞鶴も、今のまちになるまでにたくさんの変化がありました。そんな歴史を体感していただくため、スマホを使って古地図を見ながらまち歩きができる「京都舞鶴まち探検マップ」を作成しました。

古地図アプリ「Lambula map(アンブラマップ)」をインストールして、あの頃の舞鶴にタイムスリップ！

スマホやタブレットのほかにも、パソコンからも見ることが出来ます。そして将来的には市民の皆さんが見つけた「舞鶴の見どころ」を追加していく計画です。

市では、市民の皆さんと一緒にまちを再発見し、学び、伝える「地域学」を促進するとともに、観光などにも活用し「ITを活用した心が通う便利で豊かな田舎暮らし」を推進していきます。



まずは下のコードからアプリの「Lambula map」をダウンロードしましょう！



地図アプリの使い方

アプリを開くとマップが出てくるので舞鶴のエリアを選択。



自分のいる場所は青色の丸で表示。



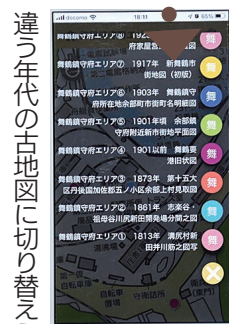
切り替えて現在のマップに。



▲ピンク色の丸を押すと解説文や動画を見ることができます。

イベント開催延期

- ◆アプリを使った関連イベントも実施
- ◆海軍鎮守府開庁120年記念 軍艦通りデジタルスタンプラリー 東舞鶴の市街地を「ぶらっ」と時間コースから「コンパクトコース」まで時間に合わせて楽しめる地図アプリを使ったデジタルスタンプラリー。コースに合わせて達成者には限定ポストカードなどのプレゼントも。受け取りは赤れんが2号棟。
- 【日時】12月28日(火)まで
- ◆アプリ公開記念古地図展 「古地図で観るまちの遷り変わり」アプリ内でも使用している古地図を赤れんが3号棟で展示。入館無料。
- 【日時】5月30日(回)まで



違う年代の古地図に切り替えられます。

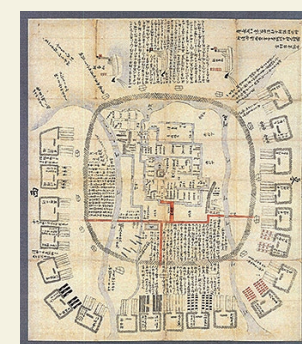
海軍舞鶴鎮守府エリア

江戸時代の海岸沿いの埋め立て工事に始まり、今から120年前、海軍舞鶴鎮守府の開庁に向けて、軍港や市街地が整備されていくまちの変化を実感できる江戸時代から戦前にかけて13枚の古地図を紹介！

- 【昭和】
- ◆1945年 舞鶴鎮守府家屋営造物配置図
- ◆1936年 新舞鶴市街地図(第5版)
- ◆1926年 連合艦隊歓迎中舞鶴町略図
- ◆1926年 連合艦隊歓迎新舞鶴市街案内図
- 【大正】
- ◆1924年 舞鶴を中心とする日本海交通鳥瞰図
- ◆1923年 舞鶴鎮守府家屋営造物配置図
- ◆1917年 新舞鶴市街地図(初版)
- 【明治】
- ◆1903年 舞鶴鎮守府所在地余部町市街町名明細図
- ◆1901年頃 余部鎮守府附近新市街地平面図
- ◆1901年以前 舞鶴要港旧状図
- ◆1873年 第十五大区丹後国加佐郡五ノ小区余部上村見取図
- 【江戸(後期)】
- ◆1861年 志楽谷・祖母谷川尻新田開発場分間之図
- ◆1813年 溝尻村新田井川筋之図写

田辺城城下町エリア

約420年前の田辺籠城戦の時の両軍の配置図に始まり、江戸時代から明治時代にかけての田辺城や城下町を描いた古地図8点を紹介。まちなかの道や水路が実は堀の跡だった!など新たな発見ができます。



- 【明治】
- ◆1899年 丹後国田辺舞鶴城御殿図
- ◆1872年 丹後国加佐郡舞鶴竹屋町地曳絵図
- 【江戸(後期)】
- ◆1809年 竹屋町・寺内町裏川筋絵図面
- 【江戸(中期)】
- ◆1727年 丹後国田辺之図
- ◆1692年 田辺城西側石垣修覆伺図控
- 【江戸(前期)】
- ◆1673年 田辺城図
- ◆江戸時代 田辺籠城図2(舞鶴市所蔵)
- ◆江戸時代 田辺籠城図1(大泉寺所蔵)